

生涯学習(社会教育・家庭教育等)

学校教育

就学前

義務教育

高等学校等

大学等

I 4つの基本的方向性に基づく方策

I 社会を生き抜く力の養成

教育内容・方法、教職員(質) (幼児教育、特別支援教育などを含む)	<p>【成果目標3】 個々人のライフステージや社会の多様な課題に対応した質の高い学習機会の提供により、社会を生き抜く上で必要な自立・協働に向けた力(※)を生涯を通じて身につけられるようにする。</p> <p>【成果目標1】 教育内容・方法の充実、教員の資質能力の向上、質保証システムの構築などにより、「生きる力」(※)を一人一人に確実に身につけさせる。また、一人一人の適性、進路等に応じて、その能力を最大限伸ばし、国家及び社会の形成者として必要な資質を養う。 ※確かな学力、豊かな心、健やかな体</p> <p>(主な指標例) ・PISA調査の平均得点で調査国中トップレベルの順位を目指す ・授業時間以外に全く勉強しない児童生徒の割合の減少 ・将来の夢や目標を持っている児童生徒の割合の増加 ・今後10年間で子どもの体力が昭和60年頃の水準を上回ることを目指す など</p> <p>【成果目標2】 学生の学修時間の飛躍的増加や学習環境の整備など学生の主体的な学びの確立による大学教育の質的転換を図ることにより、「生きる力」の基礎に立ち、課題探求能力(※)を身に付けられるようにする。 ※主体的に変化に対応し、自らの将来の課題を探求し、その課題に対して幅広い視野から柔軟かつ総合的な判断を下すことのできる力</p> <p>(主な指標例) ・学生の学修時間の増加 ・教学システム(GPA、科目ナンバリング等)の整備状況 ・大学教育への学生、卒業生、企業の評価の改善 など</p> <p>※思考力や課題解決力、健康や豊かな人間性、社会性や公共性など</p> <p>(主な指標例) ・生涯学習をこの1年間に行った人のうち、現代的・社会的な課題に対応した学習を行った人の割合の増加 ・受験者数1万人以上の検定試験等のうち、自己評価を実施している検定試験実施事業者の割合など</p>
質保証	
キャリア・職業教育、就職支援	<p>【成果目標4】 教育・雇用の連携方策の強化や体系的なキャリア教育の推進を図ることなどにより、誰もが生涯を通じて、社会的・職業的自立の基盤となる基礎的・汎用的能力や、実践的で専門性の高い知識・技能を身に付けられるようにする。</p> <p>(主な指標例) ・高等学校におけるインターンシップの実施率増加 ・就職ミスマッチの改善 など</p>

II 未来への飛躍を実現する人材の養成

社会をリードする人材	<p>【成果目標5】 卓越した能力を備え、社会全体の変化や新たな価値を創造し主導するような人材、社会の各分野を牽引するリーダー、グローバル化の中であって国際交渉など国際舞台で先導的に活躍できる人材を養成する。</p> <p>(主な指標例) ・PISA調査における習熟度レベルの上位層の増加 ・日本人学生の海外留学者数の増加 ・外国語による授業の実施率の増加 など</p>
グローバル人材	

III 学びのセーフティネットの構築

教育費負担軽減	<p>【成果目標6】 経済的、時間的、地理的制約等を改善し、意欲のある全ての者に対して生涯を通じて多様な学習機会を確保する。特に様々な困難や課題を抱え、支援を求めている者の学習機会を確保する。また、国際人権規約に基づき、能力と意欲を有するすべての者が高等教育を受けられるようにする。</p> <p>(主な指標例) ・幼稚園・総合子ども園の就園率の増加 ・高校中退者の割合の減少 ・高等教育への進学機会の確保 ・高等教育機関での25歳以上の学生の割合の増加 など</p>
教育支援・再チャレンジ	
安全・安心	<p>【成果目標7】 耐震化をはじめとする教育研究環境の整備などにより、子ども・若者等が安全・安心な環境において学習・研究できるようにする。</p> <p>(主な指標例) ・学校施設の耐震化率の向上(非構造部材を含む) ・学校管理下の事件・事故災害で負傷する児童生徒数等の減少 ・子どもの安全対応能力の向上を図るための取組が実施されている学校の増加 など</p>

IV 絆づくりと活力あるコミュニティの形成

学習を通じたコミュニティ形成 ・コミュニティによる学習支援	<p>【成果目標8】 個々人の多様な学習活動の実施や参画を通じ、家庭や地域の教育力を高め、活力あるコミュニティを形成する。特に地域の社会教育施設や学校・大学等をコミュニティの中核として、地域の振興・再生に貢献する。</p> <p>(主な指標例) ・教育施設と地域が連携・協働する「場」(コミュニティスクール、学校支援地域本部など)をすべての学校・社会教育施設に確保 ・大学における地域課題解決のための教育プログラムの増加 など</p>
家庭教育	

II 4つの基本的方向性を支える環境整備

ガバナンス 基盤整備	<p>【基本的な考え方】 4つの基本的方向性の実現に向け、その共通基盤となるガバナンスの改革や家庭・地域との連携強化も含めた教職員・支援人材の充実、学校施設・設備や教材の整備などについて、各学校の特質等にも応じつつ強化を図る。</p>
---------------	--

III 東日本大震災からの復旧・復興支援

支援策	<p>【基本的な考え方】 未来志向で一刻も早い被災地の復旧・復興に向け、被災地のニーズを十分に踏まえた必要な支援を行う。</p>
-----	---